

教育いちかわ

教育の共有化と5つのキーワード

1. 確かな学力を育成します
2. 豊かな人間性を育みます
3. ヘルシースクールを推進します
4. 安全・安心を確保します
5. コミュニティサポートを充実させます

■発行 市川市教育委員会
〒272-8501 市川市八幡1-1-1
TEL 334-1111

■企画編集 市川市教育センター
〒272-0015 市川市鬼高1-1-4
TEL 320-3335
FAX 320-3352

市川市学校図書館フェスティバル ～学校図書館で育てる子どもの学び～

全国50の市町村から「読書の街・市川へ」

市川市では、文部科学省から『学校図書館支援センター推進事業(平成18～20年度)』の研究指定を受け、学校図書館活用の一層の充実を図っています。本市では、「確かな学力の育成」には、学校図書館の「学習・情報センター」としての機能も重要であると考え、各学校で多様な活用を図っています。



1月23日(金)、調査・研究のまとめとして、文化会館において「市川市学校図書館フェスティバル」が開催されました。全国各地(北は北海道から南は沖縄県まで20都道府県=50市町村)より、学校図書館関係者(学校・公共図書館・教育委員会・大学・出版社・地域ボランティア等)総勢約360名が「読書の街・市川」の地に集い、記念講演、シンポジウム、分科会等において「学校図書館で育てる子どもの心と学び」をテーマに学び合いました。

記念講演 「これからの学校図書館を考える」



図書館で自立支援を

午前は、慶應義塾大学教授の片山善博氏(前鳥取県知事、文部科学省「子どもの読書サポーターズ会議」座長)からお話を伺いました。「図書館充実が教育充実の鍵になる」「誰のためか、何のためかというミッション(役割=使命)をはっきりさせるべき」「図書館は、それぞれの自立を支える大切な使命がある」など、ご自身の子育てや知事時代などのご経験も含めた具体的なお話に、参加者は熱心に耳を傾けていました。

シンポジウム & 分科会 ～図書館を学びの中心に～

午後のシンポジウムは、小林路子さん(市川市学校図書館支援スタッフ)の進行により、中村伸子さん(袖ヶ浦市学校図書館支援センター支援スタッフ)をシンポジストに迎え、市川市学校図書館支援センター調査研究協議委員の校長、司書教諭、学校司書によるそれぞれの立場から具体的な実践に基づく提言がありました。学校図書館のあるべき姿についての課題提起となりました。(欄外参照)

分科会	提案校(斜体は、研究協力校)
司書教諭と学校司書・学校図書館員の連携	国府台小・富美浜小
A 授業での学校図書館活用①	稲越小・大洲小
B 授業での学校図書館活用②	大野小・東国分中
学校図書館の連携	第三中ブロック (第三中・百合台小・八幡小・富貴島小・百合台幼)
学校図書館の環境づくり	南行徳中・鬼高小
学校図書館とボランティア	富貴島小・福栄小
学校での読書指導	第七中・中国分小
公共図書館見学・公共図書館の学校支援	市川市立中央図書館

分科会は、研究協力校をはじめ16校1園から、市川の学校図書館の生き生きとした姿について、日常の実践を通じた報告・提案がされました。参観者の皆様からもご質問や貴重なご意見をたくさんいただき、互いに学び合うことができました。(上記の表を参照)

当日、多数の校長をはじめ、200名を超える市内の図書館関係者が参加しました。市川市が、学校をあげて「読書教育」に取り組んでいることを実感する大会になりました。
[指導課・教育センター]



平成20年度 児童・生徒学習賞 栄光を讃えて

2月16日(月)、児童・生徒学習賞の表彰式が市川市議会議場で行われました。この賞は、学校の教育活動において、県・関東・全国規模の大会等に参加し、最優秀またはそれに準ずる成績を収めた個人・団体に与えられるものです。本年度は、個人18名及び20団体が受賞しました。受賞者には、千葉光行市長から賞状と記念品が授与されました。皆様、おめでとうございます。
[指導課]

【個人表彰】敬称略

No	学校名・氏名	大会名・コンクール名	受賞内容
1	市川市立富貴島小学校 1年 駒場 映樹	第3回健康都市連合国際大会開催記念 絵日記コンクール	低学年の部 最優秀賞
2	市川市立富貴島小学校 6年 紫雲 未来	第32回千葉県課題図書 小中学校 児童生徒読書感想文コンクール	最優秀賞
3	市川市立大野小学校 5年 吉田 アミン	平成20年度全国少年少女レスリング選手権大会	小学生の部 5年生39kg級 第1位
4	市川市立国府台小学校 6年 齋藤 真菜	第33回全日本バトントワリング選手権関東ブロック大会	トゥーパトン小学校部門 第1位
5	国府台女子学院小学部 3年 高橋 奈々	第11回「木の家・こんな家に住みたい」作文コンクール	文部科学大臣賞
6	国府台女子学院小学部 3年 渡部 優依花	第11回「木の家・こんな家に住みたい」作文コンクール	環境大臣賞
7	国府台女子学院小学部 5年 後山 珠美	第11回「木の家・こんな家に住みたい」作文コンクール	国土交通大臣賞
8	国府台女子学院小学部 5年 金森 朱音	第32回「てのひら文庫賞」読書感想文全国コンクール	自由図書部門 5年 最優秀賞
9	市川市立第二中学校 3年 伊藤 恵理	平成20年度千葉県中学生人権作文コンテスト	最優秀賞
10	市川市立第六中学校 2年 水野 純樹	平成20年度千葉県中学校新人体育大会 卓球	男子個人 優勝
11	市川市立第六中学校 1年 松山 昂樹	平成20年度千葉県卓球選手権大会	カデット男子13シングルス 優勝
12	市川市立福栄中学校 3年 藪 仁美	第48回全国中学校水泳競技大会	女子100mバタフライ 第2位
13	市川市立大洲中学校 3年 河村 絵太	第9回大阪国際音楽コンクール	ピアノ部門Age-J 第1位
14	和洋国府台女子中学校 3年 篠崎 夏波	第62回千葉県中学校総合体育大会 水泳競技	女子100m背泳ぎ 第1位
15	昭和学院中学校 3年 中井 雄太	千葉県中学校水泳競技大会	400m個人メドレー 第1位
16	昭和学院中学校 3年 大澤 都	第62回千葉県中学校総合体育大会 体操競技	女子個人総合 第1位
17	昭和学院中学校 3年 吉村 寛子 2年 木谷 優美	第62回千葉県中学校総合体育大会 ソフトテニス	女子個人の部 優勝
18	昭和学院中学校 3年 江澤 敬信 3年 土津川 将義	第62回千葉県中学校総合体育大会 ソフトテニス	男子個人の部 優勝

【団体表彰】敬称略

No	学校名・氏名	大会名・コンクール名	受賞内容
1	市川市立真間小学校 吹奏楽部	2008(第14回)日本管楽合奏コンテスト 全国大会	最優秀グランプリ賞
2	市川市立富美浜小学校 マーチングバンド部	第7回千葉県小学校バンドフェスティバル	金賞
3	国府台女子学院小学部	第11回「木の家・こんな家に住みたい」作文コンクール	最優秀団体賞
4	市川市立第六中学校 卓球部	平成20年度千葉県中学校新人体育大会 卓球	男子団体の部 優勝
5	市川市立第六中学校 管弦楽部	平成20年度「子ども音楽コンクール」 文部科学大臣奨励賞選考会	文部科学大臣奨励賞
6	市川市立第七中学校 サッカー部	第62回千葉県中学校総合体育大会 サッカー	優勝
7	市川市立福栄中学校 藪・越山・安藤・篠原	千葉県中学校水泳競技大会	女子400mリレー 第1位
8	市川市立東国分中学校 女子バスケットボール	第38回関東中学校バスケットボール大会	準優勝
9	市川市立塩浜中学校 サッカー部	平成20年度千葉県中学校新人体育大会 サッカー	優勝
10	市川市立南行徳中学校 合唱部	第63回関東支部合唱コンクール	中学校部門 混声の部 金賞
11	市川市立妙典中学校 剣道部	第62回千葉県中学校総合体育大会 剣道	女子団体 優勝
12	和洋国府台女子中学校 卓球部	平成20年度千葉県中学校新人体育大会 卓球	女子団体 優勝
13	和洋国府台女子中学校 水泳部	千葉県中学校水泳競技大会	総合の部 女子 第1位
14	和洋国府台女子中学校 篠崎・長江・牧・関根	千葉県中学校水泳競技大会	女子400mメドレーリレー 第1位
15	昭和学院中学校 バスケットボール部	第38回全国中学校バスケットボール大会	女子の部 第1位
16	昭和学院中学校 新体操部	第39回全国中学校新体操選手権大会	団体 第1位
17	昭和学院中学校 女子ソフトテニス部	第62回千葉県中学校総合体育大会 ソフトテニス	女子団体の部 優勝
18	昭和学院中学校 水泳部	千葉県中学校水泳競技大会	総合の部 男子 第1位
19	昭和学院中学校 体操競技部	第62回千葉県中学校総合体育大会 体操競技	女子団体 優勝
20	市川中学校 応援部	第8回全日本チアダンス選手権大会	ボンボン中学生部門 第2位

◆市川市学校図書館フェスティバルは、Webサイトでもご覧になれます

学校図書館支援センター通信(教育センター) <http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

[市川市教育振興基本計画]が策定されます!

パブリックコメントへのご意見 ありがとうございます

市川市教育委員会では、これからの教育振興の一層の充実とさまざまな教育課題の解決を図るために、昨年度から「市川市教育振興基本計画」の策定を進めてきました。1月初めから2月初めにかけて実施した「パブリックコメント」では、市民の皆さんからもさまざまなご意見をいただきました。ありがとうございました。

1月27日(火)には「第5回教育振興会議」を開催いたしました。会議では「市川市教育振興基本計画(案)」の内容について、市川市が目指す「子どもの姿」「家庭・学校・地域の姿」「市川の教育の姿」の3つの観点から、最終的な話し合いがなされました。

次回の会議では、基本計画をもとに具体的な事業を実施していくうえで、どのような取り組みが考えられるか、特に家庭教育の分野について話し合う予定です。

今後、3月の定例教育委員会、第6回教育振興会議での承認を経て、4月には「市川市教育振興基本計画」を策定し、その後、冊子やリーフレットを配布する予定です。本計画は、市川市の教育の目指す方向を示すものとなっていますので、皆さんもぜひご覧ください。平成21年度からは、この計画に基づいて市川市の教育に関わる事業を実施していきます。実際の事業に関わる「実施計画」については現在策定中です。今後とも皆さんのご意見をお聞かせください。 [教育政策課]

幼稚園児の一日小学校体験

南行徳幼稚園

2月17日(火)と20日(金)、南行徳幼稚園に通う園児約150名が、入学を予定している小学校を分かれて訪れ、1日小学校体験を行いました。訪問したのは、

南行徳小・新井小・富美浜小・福栄小・塩浜小。各学校では、ゲームをしたり、1年生の教室や幼稚園児の兄弟の教室を見学したり、校庭の遊具などで遊んだりしました。

南行徳小学校では、5年生が園児たちを迎え、一緒にゲームなどをして、笑顔いっぱいになりました。小学校を訪問すると、園児たちは、自分たちで「学校ごっこ」

などの遊びをするようになるそうです。実際に小学校を見て、優しく迎えてもらった経験が、園児たちの安心感につながっていくのです。

4月が楽しみですね。 [就学支援課]



南行徳小に到着



南行徳小5年生とゲーム

はばたけ!リーダーへ

わんぱくセミナー 修了式



みんなで食べるとおいしいね! わんぱくセミナー 富美浜小会場

わんぱくセミナー スペシャル



走れ!走れ!「丸描きリレー」 いっぱいOを描いたチームが勝ち!



すごいな~! 「月とロケット」 青少年リーダーのゲームにみんな夢中!

11月16日(日)、わんぱくセミナー最終回。八幡小・市川小・富美浜小会場で、ブーメラン&飛行機作りと閉講式が行われました。市内の小学校から集まった105名の小学生たちが、仲良くなった友達やリーダーとの別れを惜しみつつ、思い出を振り返っていました。

来年度もわんぱくセミナー・ジュニアリーダー講習会で会えることを心待ちにしています。(来年度の申し込みについては、欄外を参照してください。)

2月1日(日)、大和田小学校の体育館は、笑い熱気に包まれました。名づけて“わんぱくセミナースペシャル”。わんぱくセミナー・ジュニアリーダー講習会の番外編を実施しました。

子ども会のスタッフが大勢見守る中、市内小中学生41名とリーダー12名が友達を誘いあって参加しました。命令ゲームから始まり、O描きリレーに靴飛ばしリレー、線鬼など、市川市ジュニアリーダーサークルの企画したゲームに盛り上がった3時間でした。

参加者からは、「笑いすぎておなかが痛い。とにかく楽しいです!」「笑って走って大声出して...久しぶりに本気で笑いました。」「こんなに楽しいなら、わんぱくセミナーに参加すればよかった。」「もっとゲームしよう!」との声があがり、まだまだ遊び足りない様子でした。

この事業の卒業生の高校生や大学生のリーダーが大活躍。青少年リーダーとして一歩一歩成長していく姿は頼もしい限りです。 [青少年育成課]

教育に夢を!

教育委員←→児童生徒の交流会

3学期は、3校で交流会が行われました。そこでの様子についてお知らせします。

妙典中(1/20)

部活動の部長が参加。部を引っ張っていくやりがいや苦労などが話題になりました。先輩方のように自分たちも頼りになる存在になりたいとの言葉が印象的でした。



国分小(2/13)

4・5年生がクラス単位で交流。ゲームやクイズの後、絵に描くなどして発表をした、子どもたちの「こんな学校にしたい」という願いについて、一緒に考えました。



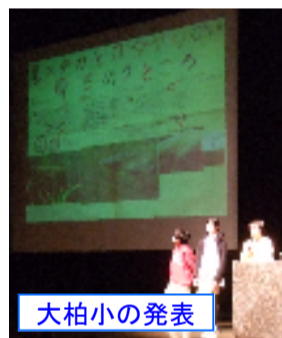
行徳小(2/24)

2年2組での交流会。劇や人形劇で「かさこじぞう」の発表をした子どもたちと、昔の行徳小を語る教育委員。その後の給食でも、色々な話ができました。 [教育政策課]



平成20年度 学校版環境ISO認定式

市川市では、平成15年度より環境教育の充実を図るため、学校版環境ISO認定事業(エコ・アップ・スクール21)を推進しています。ISOは、International Organization of Standardization=国際標準化機構と訳されます。今回の5校を加えて、市内小・中学校30校が学校版環境ISOの認定を受けて活動を行ってきました。各学校では、児童・生徒、教職員、保護者が意見を出し合い、学校ごとに環境を守る活動を進めています。



大柏小の発表

平成21年1月29日(木)、グリーンスタジオにおいて、市川市学校版環境ISOの認定式が行われました。新たに認定を受けたのは、真間小・若宮小・鶴指小・宮久保小・南行徳中の5校で、各学校の校長に、西垣教育長より認定証が授与されました。その後、昨年度認定を受けた5校の児童生徒代表による実践発表が行われました。

絶滅危ぐ種である「黒メダカ」の保護活動に全校をあげて取り組んだ実践(大柏小)、環境委員会を中心に昨年度との比較をして活動を発展させている実践(柏井小)、4つのエコ宣言を掲げてエコ活動を続けている実践(塩焼小)、ISO会員各自が「宣誓」して活動の輪を広げている実践(下貝塚中)、総合的な学習の時間に大気汚染調査・ピオトープ作り、花壇作りに取り組んだ実践(高谷中)など、活動することによって、児童・生徒の意識が高まっていることが報告されました。

各学校では、「〇〇学校環境方針」や「〇〇学校エコ宣言」などを掲げ、保護者や地域の方々も一緒になって活動を進めています。今後もこの取り組みが広がっていくことを期待しています。 [指導課]

お知らせ① 「ジュニアリーダー講習会」・「わんぱくセミナー」とも、4月に学校や子ども会に募集要項を配布する予定です。(青少年育成課)

お知らせ② 市川市文学プラザ企画展「てこな~その姿をもとめて~」メディアパーク3階で開催中です。ぜひ、ご覧下さい。(~5月28日まで)

30周年の「いぶき」



2月17日(火)、グリーンスタジオにおいて「平成20年度教育実践記録論文」の表彰式・発表会が行われました。

表彰式では、大熊徹審査員長(東京学芸大学教授)より審査結果が発表され、西垣惇吉教育長から賞状が授与されました。(受賞者・テーマは右の表参照)

発表会では、最優秀賞に輝いた3つの論文の発表が行われました。

一般部門の最優秀賞は、田代美香絵教諭(大洲幼)の「一人ひとりが育つ、みんなが育つ」で、10年ぶりとなる幼稚園からの受賞。審査員の先生方からは、「対象が幼く、感想文や作文で子どもの姿を記録できないぶん、写真の横に子どものつづやきを書き加えるなどの工夫は実践記録としての効果を高めている」と評価を受けました。

最優秀賞のもう一つは、野田貴志・黒田洋子・川添陽子教諭(富貴島小)の「主体的な学びを目指す国語科学習(読書の日常化を通して)」。

審査員の先生方からは、「2年間にわたり、3単元を意欲的・計画的に実践した研究の考え方が、これからの時代にも大切にされる考え方である。」との評価を受けました。

一方、フレッシュ部門の最優秀賞は、杉本林太郎教諭(大野小)の「われら防災研究隊!」。



審査員の先生方からは、「体験することが子どもたちの活動のエネルギーと結びついていることが論文全般を通して伝わってきた」との評価がありました。

これまで表彰された実践は、実践記録論文集「いぶき」として年度ごとにまとめられ、30冊を数えることとなります。

[教育センター]

～教育実践記録論文 表彰式・発表会～

《一般部門》 敬称略

氏名	学校名	分野	テーマ	賞
田代 美香絵	大洲幼	幼稚園	一人ひとりが育つ みんなが育つ ～幼児の成長や可能性を支える保育者の役割を考える～	最優秀
野田 貴志 黒田 洋子 川添 陽子	富貴島小	国語 (読書)	主体的な学びを目指す国語科学習(読書の日常化を通して) ～自分の読みを広げ、深めるために～ 学年の取り組みから	最優秀
高山 礼子	新井小	音楽	一人一人が五感を使って、体感する音楽表現を求めて ～和太鼓の鼓動を6年生とともに味わった2年間の歩み～	優秀
鶴田 雪衣	真間小	健康福祉教育	栄養士から発信する食に関する学習	優秀
宮内 直子	妙典小	総合的な学習	未来に向けて 12歳の旅立ち ～キャリア教育って必要なの?～	優秀
田中 紀子	妙典小	特別活動	給食マナー名人になろう!	優良
長崎 誠	下貝塚中	理科	生徒が興味・関心を高める学習内容の工夫・改善について ～3学年理科の学習を通して～	優良

《フレッシュ部門(経験5年以下)》 敬称略

氏名	学校名	分野	テーマ	賞
杉本 林太郎	大野小	総合的な学習	われら防災研究隊! ～自分を、家族を、地域を守りたい～	最優秀
大根田 芳光	鶴指小	保健体育	5分間のストレッチ運動で柔軟性を高める ～柔軟性向上プロジェクト～	優秀
原 健	第五中	生徒指導	生徒の自主性を生かす学年集団づくり ～学年行事を中心とした学年中央委員会の取り組みから～	優秀
平田 剛	百合台小	生徒指導	友だちっていいな ～ひとりじゃないよ～	優秀
八木 孝政	新浜小	国語 (読書)	みんなが本に親しむ読書活動の実践 ～担任と図書館司書との連携～	優秀
東 麗華	福栄小	国語 (読書)	思いを持って伝え合う力を育てる ～第1学年「お話しするね、むかしばなし」の学習を通して～	優良
荒川 由子	中山小	図工・美術	図工大好き! 一人ひとりが輝く学級づくりをめざして	優良
梶元 浩子	妙典小	健康福祉教育	うち博士になろう! ～排便から生活習慣を見直す～	優良
谷藤かおり 松井 千春	須和田の丘 支援	特別支援教育	わかって生活するためのルール ～小学部4年生11名の成長を通して～	優良
中村 公紀	大柏小	総合的な学習	その時クラスが動いた 笑顔でごちそうさまが言えた瞬間 ～食についての取り組みを通して～	優良

第一中学校 ◆高校の授業を体験しよう◆ 1月22日・23日



東葛飾:理科(高石先生) 昭和学校:情報(廣谷・本吉先生) 薬園台:園芸(吉田先生)

第一中学校では、進路指導の一環として「現役の高校の先生」を招いて、「模擬授業」を行っています。昨年に引き続き2年目となる今年も、2日間で10講座(国語・理科・園芸・建築・情報・数学・看護・英語・商業・インテリア)を実施。生徒たちは、希望する2つの教科の授業を体験しました。

生徒の感想には、「建築は一からしっかり学ばなければいけない難しいものなんだと思った」「一つの生き物でも何種類もあってびっくりした」「赤ちゃんをお風呂に入れるのはとても大変なんだと感じました」などの気づいたこと、発見したことへの驚きがたくさん書かれていました。今後の進路学習の深まりが楽しみです。

[教育センター]

曾谷小学校区コミュニティサポート委員会 地域ぐるみの防災活動 ～県内1000か所ミニ集会～

2月14日(土)曾谷小学校において、地域の防災をテーマにした、曾谷小学校区コミュニティサポート委員会(県内1000か所ミニ集会:欄外参照)が開催されました。

協議では、市川市役所危機管理部の職員から「地域ぐるみの減災対策」の説明がありました。市の備蓄状況、各家庭での防災対策、水や食糧の備蓄についての話に続き、中越地震等での避難所生活を例にあげて、避難生活をするうえでの課題と対策等の話がありました。その後、参加者を交えて意見交換が行われました。会場からは、「学校以外の避難場所の役割」「いざという時の情報伝達の仕方」「危機管理担当の方々に期待すること」などの意見が出されました。



スライドを用いた丁寧な説明



曾谷小体育館脇の備蓄倉庫

学校は避難所としての役割を担う「いざ」という時の地域防災の拠点です。13箇所の防災倉庫のほか、各小・中学校に備蓄倉庫(余裕教室利用含む)が設置してあります。参加者にとって、「地域の中の学校」としての存在の重要性を再認識する会となりました。

[地域教育課・指導課]

文部科学大臣優秀教員表彰

石橋智子教諭(稲荷木小)が、平成20年度文部科学大臣優秀教員の表彰を受けました。市川市から初受賞。学習指導において特に顕著な成果をあげられたことでの表彰です。おめでとうございます。 [指導課]



シリーズ(3) 美しい日本語 探検隊が行く

今回は、落語の取り組みを取材しました。



「ことば」を見つめる取り組みとして、「落語」を取り入れている学校は、市内にも多いようね。今回は、プロの落語家のお話を聞くことで「ことばの力」を学んでいる宮田小学校を見に来たの。お話をしてくれた三遊亭圓窓さんは、4年生の教科書で「ぞろぞろ」というお話を紹介しているわ!

4年生のみんなは、落語に出てくるさまざまな登場人物について勉強してきたの。さすがはプロの噺家さん。言葉巧みにいろんな人になっていて、びっくりしたわ。



4年生のみんなと一緒に、地域の高齢者の方々も参加していたね。低学年の頃から交流を続けてきてるらしいね。世代を超えて楽しさが言葉で伝えられる落語って素晴らしいね。みんなの感想からは「教科書の文をそのまま言うのではなく、圓窓さんなりにアレンジがされていて、聞いていて楽しくなりました」



宮田小での落語ライブ

「圓窓さんの落語は、顔や声など体全体で表現していて、すごくおもしろかった」「しゃべっている途中で声が止まっちゃったり、動作も人物の表情が想像できたりして、とてもおもしろかった」などが寄せられたよ。ぼくも一席チャレンジしようかな・・・。

取材協力:宮田小学校 [指導課・教育センター]

健康からいきいきと 生まれてきたことを誇りに

～ 第六中 1年生 総合的な学習の時間「いのち」の授業～

2月4日(水)5・6校時、第六中学校1年生の各クラスにおいて、6人の助産師さんによる「いのち」の授業が展開されました。

この授業は、ヘルシースクールの取り組みの一環として継続して実施されており、中学校3年間を通して「いのち」について考える大切な時間として位置づけられています。保健学習の授業を発展させて、養護教諭が助産師さんに働きかけて実現したものです。

授業の内容は、第二次性徴の復習、性器のしくみ、いのちの誕生、赤ちゃん人形だっこ体験、子育ての苦労と楽しみなどでした。本当は気になっているけど、なかなか聞くことができない「性」のこと。助産師さんは、性器の仕組みや胎児の成長の中に隠された「いのち」の神秘について、わかりやすく具体的にお話されていました。



赤ちゃん人形だっこ体験

生徒たちは、恥ずかしがりながらも、「へえ～」という声をあげてうなずいたり、目を凝らしてのぞき込んだり、これまで学んだことを発言したりと、真剣な眼差しで授業に臨んでいました。

助産師さんたちが対応している「思春期無料電話相談」には、10代の子どもたちからの相談が多く寄せられるようで、悩みの件数トップ3については男女ともにほとんど変わらないそうです。今、自分が不安に思う気持ちが当たり前であることをわかりやすく話されていました。

自分や仲間を本当に大切にするために、互いのことを知ってほしいという願いのもと、授業のまとめでは、「こころの成長」の大切さを伝えてくださいました。「人間は、いくつになっても未完成。ぜひ、未完成である今の自分を好きになって欲しい」という言葉で授業は締めくくられました。



受精～胎児の成長

生徒たちからは、「実際に人形の赤ちゃんを抱いてみて、意外に重く、お母さんはずっと自分の世話をしてくれていたんだと感謝したい気持ちになりました」「命はたった一つしかないのだから、自分を大切に生きていこう」「一番心に響いたのは、自分の気持ちをしっかりと表現しなさいということです」などの感想が寄せられました。

授業を終えた助産師さんから、思春期の生徒たちに「性」に関する話を真正面からしていく取り組みについて伺いました。授業の雰囲気は違うけれど、どの学校でも、ほとんどの生徒が真剣に聞いているそうです。助産師さん曰く、「絶対に必要としていることなので信念をもって伝えている」とのことでした。「初対面だからこそできる話もある。外部の私たちがすべき使命だと感じています。」使命感を持って「いのち」の輝きを伝えている助産師さんの姿に、「生まれてきたことを誇りに思ってもらいたい」という言葉が重なりました。

「いのち」をテーマにした講演などは、市内の各学校でも行われてきています。市川小学校では、2月6日(金)家庭教育学級と共催で、「誕生学の講演 ～命って素晴らしい～」という講演会を開催しました。講師は誕生学アドバイザー。「誕生」にまつわる様々な話を、2年生の児童向け・保護者向けの2部構成でしてくださいました。



第六中学校は、「健康教育推進学校 表彰事業」において、ヘルシースクールでの取り組みが認められ「優良校」に選ばれました。(全国規模の表彰で、千葉県内の中学校では第六中を含め2校です。)おめでとうございます。 [保健体育課・教育センター]

特別支援学級 新規設置校のお知らせ

～平成21年4月より特別支援学級の開設(予定)～

市川市教育委員会では、特別支援教育推進に係る環境整備の観点から、全市的な特別支援学級の設置バランス・未設置地域の状況等を考慮した結果、平成21年4月より下記のとおり特別支援学級を開設(予定)します。

- <小学校> 市川市立北方小学校「言語学級」(通級指導教室)
所在地: 北方町4-1356-1
- <中学校> 市川市立第四中学校「知的学級」
所在地: 中山1-11-1

[義務教育課]

考古・歴史博物館

第9回 縄文体験フェスティバル in 堀之内貝塚

見る ◇ 作る ◇ 食べる
そして試す! 家族で楽しめる祭です!!

国の史跡である堀之内貝塚と考古・歴史博物館があるという地域的な特性を生かした、子どもから大人まで、みなさんが気軽に楽しめる地域のまつりです。楽しい企画が盛りだくさん用意されています。ぜひお越しください!! 申し込みや参加費は不要です。

日時: 3月22日(日) 10:00~15:00

場所: 歴史博物館前広場・堀之内貝塚公園にて

千葉県知事選挙のため、開催日が3月22日に変更になりました。3/29→3/22へ

【今まで開催したイベント】

- <考古博物館周辺>
 - ・火おこし体験
 - ・縄文造形教室
 - ・勾玉(まがたま)などのアクセサリーづくりなど
- <堀之内貝塚公園>
 - ・フリーマーケット
 - ・たんけん堀之内貝塚など
- <歴史博物館隣接広場>
 - ・縄文を食べよう・模擬店・もちつき・ちょっと昔のあそびなど



※内容や場所は天候などの都合により変更になる場合があります。
市川考古博物館: 〒272-0837 市川市堀之内2-26-1 ☎047(373)2202

青パト毎週出動中



青パトいざ、出発!

南新浜小学校では、ほぼ週1回の割合で地域の防犯パトロールを実施しています。当初、学校のパトロールへの協力をきっかけに始めた活動が、今ではPTA・地域の方々が「南新浜青色防犯パトロール隊」を結成し、警察の認可を受けて活動をしています。PTA・地域・学校の三者でパトロールを始めたのは、南新浜小学校が最初で、現在市内の学校に拡大中です。

地域の方だけで防犯防火のパトロール活動(冬休み)や、警察の方を招いて「青色防犯パトロール免許取得講習会」を開催するなど、活動の広がりが見られます。

実際に「青パト」に同乗してみると、遊んでいる子どもたちや、保護者の方々にも出会うことができ、多くの方々に注意喚起の声をかけることができました。「青パトは、目立つので子どもたちや市民の方もすぐ気づいてくれます」と語る笑顔に、参加されている方の「地域を思う気持ち」を強く感じました。 [指導課・教育センター]



パトロールの標示

歴史博物館 自 歴 考 電話: 373-6351

◆ 歴史博物館・市川博物館友の会 合同展 「昔のくらしコーナー・市川の文学碑 ～拓本と表装～」

日時 3月15日(日)～5月24日(日)
会場 歴史博物館 2階 特別展示室(入場無料)

今回の展示では、私たちのくらしの中で使われていたちょっと昔の道具類を展示して紹介します。小学校の教科書で取り上げられている「炭火アイロン」「氷冷蔵庫」「たらい」なども展示します。なお、市川博物館友の会による市川の文学碑の拓本の展示会も同時に開催されます。



昔のくらし: 道具類の展示

◆ 関連事業: 展示説明会

日時 3月21日(土) 4月12日(日)
4月26日(日) 5月10日(日) 14:00~14:30

会場 歴史博物館 2階 特別展示室(入場無料)

※ 申込は不要です。(直接2階特別展示室にお越し下さい)